



# 耐久 ~真健美~



令和元年度  
和歌山県立耐久高等学校 全日制  
Monthly Times  
マンスリータイムズ 9月号

## ◆芸術鑑賞会◆

### ~“kogakusyu 翔”の演奏 和太鼓の魅力~

8月28日有田市民会館紀文ホールで、全校生徒が参加する芸術鑑賞会を開催しました。今回は、



“kogakusyu 翔”による和太鼓や笛を始める邦楽の良さを活かし、ピアノ・ドラム・ベースなどを取り入れた独自の演奏

を鑑賞しました。また、鑑賞会には、和太鼓ワークショップなども組み込まれており、会場は大いに盛り上がりました。

次に生徒の感想を紹介します。

今までに体験したことのない感覚でした。私は、ステージで和太鼓の演奏体験をさせていただきました。ほんの10分ほどの体験でしたが、それだけで私の腕はパンパンになりました。これをプロの方々



はアンコールも含めて6曲演奏してくれたのは、かなりの体力が必要だと感じました。また、和太鼓を叩くのは本当に大変なことだということもわかりました。終始、和太鼓の凄さに圧倒され、音楽の演奏で初めて鳥肌が立ちました。貴重な経験をさせていただきました。

ありがとうございました。

(3年 池尻奈々)

今回の芸術鑑賞会は、本当に良かったと思いました。理由は2つあります。1つ目は、和楽器と洋楽器を組み合わせた新しい音楽に出会えたことです。

どちらか一つでもかっこいいですが、両方の楽器を組み合わせた曲はそれ以上にかっこよかったです。二つ目は、演奏者の方々の「夢」についてのお話を聞いたことです。私は夢を叶えることに逃げてしまいたいようになる時があります。しかし、今日のお話を聞いて、その夢を叶えるために頑張ってみようかなと思うことができました。



(2年 山下知里)

## ◆国際会議で発表◆

### ~国際博物館会議(ICOM)京都大会、文化活動委員会(CECA)オフサイトミーティングで発表!~

9月5日、ホテルアバローム紀の国で開催された本校4名の生徒がICOM京都大会2019CECAオフサイトミーティングで本校生徒4名が、「世界津波の日2018高校生サミットin和歌山」での経験について発表しました。英語での発表ではありません



が、パワーポイントを用いてわかりやすく説明することができました。今後こうした活動を通して、深い国際感覚を養ってもらいたいです。



(中央、文部科学副大臣浮島とも子議員とともに会場入口で記念撮影。左から3年6組芝幸志朗 中上未悠 平松星月 3年1組西 菜月)

## ◆文化祭、体育大会で約700名が来校◆

### ◎文化祭

9月18日、19日に開催しました。今年度のテーマ「雨のち晴れ、そして芽ばえ」には、楽しいことはもちろん、苦しいことも自分の成長する糧として耐久高校生としての絆を深めてほしいという願いが込められています。1年生は展示、2年生は舞台発表、3年生は模擬店。加えて文化クラブの展示、発表など生徒が丸となって文化祭を盛り上げました。また、PTA主催のカフェやバザーも好評でした。昨年同様、今年も一般公開を行い、多くの方々に耐久高校生の活動を見てもらうことができ、生徒のモチベーション向上にも繋がりました。今後も文化祭で得たものをさらに発展できるように、様々な取組をしていきます。

(生徒支援部長 岸山裕之)



### ◎体育大会

午前中は晴天に恵まれました。午後から雨の予報があったため、一部午後の競技を午前に行ったり、



競技内容をを変更したり、雨が降る前に競技を終えきまされた。体育委員やクラブ部員が

力を合わせて整備を行い、途中の変更にもすぐに対応してくれた生徒補助員や出場選手のおかげです。

全学年を3つに分けたブロック対抗戦で競います。学年の枠を超え、全力疾走、全力競技で選手や応援が一体となりました。優勝した黄ブロックの皆さんおめでとうございます。また、大会フィナーレには、今年も3年生がオリジナルフォーク・ダンスを披露してくれました。それぞれの場面で沢山の笑顔が見られたので、よい思い出の体育大会となったことと思います。運営にご協力下さったPTAの方々、ありがとうございました。(体育科 中上 太)